



3月29日に第30回羽島救急カンファレンスが開催されました。

今回は特別講師として、沖縄県立中部病院 心臓血管外科部長 本竹 秀光先生をお招きし『沖縄県における救急医療の変遷～救急医療現場は医療教育の原点である～』と題してご講演をいただきました。会は、今も深く傷跡が残る東日本大震災に哀悼の意を表し黙祷を捧げるところからはじまりました。沖縄県は日本でもトップの救急医療体制を確立させており、先生の経験を基にした救急医療の重要性、今後の救急医療の展望などをご講演いただきました。

講習会・イベントのご案内

糖尿病教室 春の特別講演

患者さま向け

日 時:5月7日(土)14:00~16:00
場 所:3階講堂
演 題:『糖尿病と腎症・ED
~QOLを高める~』
講 師:松波総合病院 泌尿器科部長
長谷川 義和先生
特別教室:療養指導を受講した
患者さまの取り組み紹介

※事前申込みや参加費は必要ありません。
どなたでもお気軽にご参加ください。

春の糖尿病教室 基礎コース

患者さま向け

下記の期間 毎週水曜日 午後2時から4時まで3階講堂にて開催します。

- | | | |
|--------------|------------------------------|---------------------|
| 日 時:5月11日(水) | ●テーマ1:糖尿病とは | 講師:林 慎先生(松波総合病院副院長) |
| | ●テーマ2:食事療法の知識箱 | 講師:管理栄養士 |
| 日 時:5月18日(水) | ●テーマ1:糖尿病性網膜症について | 講師:松波 智恵子先生(眼科部長) |
| | ●テーマ2:運動療法のウソ・ホント(講義) | 講師:理学療法士 |
| | ●テーマ3:運動療法のウソ・ホント(実践) | 講師:理学療法士 |
| 日 時:5月25日(水) | ●テーマ1:薬物療法、はじめの一歩 | 講師:薬剤師 |
| | ●テーマ2:糖尿病の診断と治療 | 講師:林 慎先生(松波総合病院副院長) |
| 日 時:6月 1日(水) | ●テーマ1:糖尿病の合併症とインスリン | 講師:林 慎先生(松波総合病院副院長) |
| | ●テーマ2:血糖値を振り返って血糖コントロールしましょう | 講師:認定看護師 |

※都合により内容を変更することがありますので、ご了承ください。
※毎回、糖尿病教室開催時にストレッチ体操を行いますので動きやすい服装でおこください。

かかりつけ医院のご紹介



羽島郡 笠松町の 吉田胃腸科

内 科 胃腸科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 3:30~6:30	○	○	○	—	○	—

—:休診

休 診 日 日曜日・祝日
〒501-6076
岐阜県羽島郡笠松町門前町67-2
☎ 058-387-2217
FAX 058-388-3978

院長: 吉田 謙

最新の医療機器と、あらゆる分野での専門医を擁した松波総合病院との病診連携により、当院に受診される患者さんに、最新かつ良質の医療を提供できるよう、また地域医療に貢献できるよう、スタッフと共に日々診療に励んでいます。

患者さまと
病院をつなぐ
かけはし
No.139
MATSUNAMI

まつなみ

2011
5
発行
社会医療法人
蘇西厚生会

医療最前線

命を支える最新医療

岐阜県初!

内視鏡手術ロボット 「ダ・ヴィンチ」による初めての 手術に成功しました。

今年4月、松波総合病院では内視鏡手術ロボット「da Vinci S HD (ダ・ヴィンチS HD)」を使った第一例目の手術を行いました。手術を受けられたのは直腸がんの男性(60歳代)で、約7時間におよぶ手術は滞りなく終了。手術後の経過も順調で、術後1週間で無事退院されました。なお、ダ・ヴィンチによる手術は岐阜県内では初めてのことであります。そこで、手術を行った小林建司医師に話を聞きました。



2011年4月上旬、当院で行われたダ・ヴィンチ手術の様子。韓国の外科医が助手を務めた他は、麻酔科医、看護師、臨床工学技士すべて当院のダ・ヴィンチチームが携わりました。

由に拡大して見ることができるので、より精密な作業ができます。自然な動きができ、手ぶれがまったくないことも、正確で安全な作業につながります。

■患者さまにとってのメリットは何でしょう。
腹腔鏡手術と同様に、開腹手術に比べて術後の傷が小さく、合併症のリスクも少ないこと。その分、入院期間が短く社会復帰が早くなります。今後、症例を積み重ねることで、ダ・ヴィンチのメリット、可能性はさらに広がってくると思います。

■今後のビジョンを聞かせてください。
腹腔鏡手術の黎明期から関わり、その普及に力を尽くしてきた私には、2つの使命があると思っています。ひとつは岐阜県の医療レベルを高めること、そしてもうひとつは、私たち自身の技術を世界レベルにもっていきたいということ。そういう意味では、今回のダ・ヴィンチの導入・手術によって、岐阜県全体の底上げができるかもしれないと期待しています。そのためにも実績を積み重ね、完成形を作って、次のチームにバトンタッチすることも私の役割かなと思っています。

■当面、年間何例を目標にしていますか。
現在、当院では年間30例の直腸がん手術を行っています。そのうちの10例をダ・ヴィンチで行うことを目標にしています。成功例を重ね、ダ・ヴィンチがいかに優れているかを皆さんに知っていただき、普及につなげたいと思っています。

■最後に患者さまにメッセージを。
ダ・ヴィンチ手術は、からだにやさしい腹腔鏡手術の精度をさらに上げる、先進の手術です。現時点ではまだ自費診療となり、患者さまにご負担をおかけしますが、よりいっそう高いレベルでの手術が提供できることを考えれば、利用価値は十分にあるものと思っています。ダ・ヴィンチ手術を希望される方は、いつでもご相談ください。

手術はイメージした通りに スムーズに進みました。

■昨年12月のダ・ヴィンチ導入から手術に至るまでの経過を教えてください。

まず、ダ・ヴィンチ手術には操作に精通した医師が2人必要です。3ヶ月間のトレーニングを重ね、初回手術では万全を期すために、ダ・ヴィンチによる消化器外科手術では世界のトップの位置にいる韓国の外科医をお呼びして、アドバイスをいただきながら、手術を実施しました。

■初回手術を行った感想はいかがですか。
もともとダ・ヴィンチは、現在の腹腔鏡手術の弱点を補い、精度をより高めるために開発されたロボットです。私にはこれまで約500例の腹腔鏡下大腸手術を行ってきた経験がありますから、手術前から、私の中では完全にイメージができていました。実際の手術もイメージ通りに進み、スムーズに行うことができました。患者さまも術後の合併症もなく無事に退院されたのでホッとしています。一緒にトレーニングを重ねてきた当院スタッフも、手術が成功し順調なスタートが切れたことに感動していました。



最大のメリットは、術野がよく見え、安全確実に手術できること。

■ダ・ヴィンチの使い勝手はいかがでしたか。

ダ・ヴィンチは体内を3次元の立体映像で鮮明に見ることができます。開腹手術では見えなかった細かな組織も自



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内
全面禁煙です。
皆様方のご理解とご協力
をお願いします。

社会医療法人 蘇西厚生会
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町門前町185-1



患者さまの身体に、内視鏡やロボットのアームについて手術器具をセットする小林医師。(写真中央)

新任医師紹介 新しく当院の医師となった8名をご紹介します。

この4月から松波総合病院に新たに8名の医師が仲間入りしました。地域の皆さんのために精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科 部長
永井 裕之
1989年 昭和大学卒業

岐阜の気候や風土に早く慣れて地域の医療に貢献したい。

4月より耳鼻咽喉科に勤務することになりました永井裕之です。名古屋大学耳鼻咽喉科より派遣されてまいりました。大学院を卒業後いくつかの病院を経て、この3月までは愛知県知多市で勤務していました。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科 副部長
萩原 徳康
1996年 岐阜大学卒業

泌尿器科の萩原 徳康です。よろしくお願いいたします。

岐阜県総合医療センターから当院へ赴任してきました。今まで岐阜大学病院、大垣市民病院、岐阜赤十字病院、岐阜市民病院を、2~3年ごとに異動しています。今回久しぶりに透析に関わることになりました。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



整形外科 副部長
森 敦幸
1997年 岐阜大学卒業

関節痛のない、安楽な生活をめざして

現在、膝や股関節などの関節に痛みを感じている患者さんはますます増加しており、このために日常生活に支障を来す方が増えてきています。関節外科医として、このような患者さまの生活を少しでも楽なものにできるよう、診療にあたりたいと思います。主に膝関節を専門として担当しています。



内科 医師
朝川 英範
2001年 関西医科大学卒業

内科の朝川 英範です。よろしくお願いいたします。

2004年から2010年の6年間当院で勤務し、この4月から再就職いたしました。専門は内科全般ですが、内視鏡検査も行っています。これまでの経験を活かし、少しでも地域医療に貢献できるよう努力してまいります。



整形外科 医師
田中 薫
2002年 杏林大学卒業

平成14年卒業の田中 薫です。よろしくお願いいたします。

岐阜大学病院、高山赤十字病院、岐阜赤十字病院、平野総合病院を経て当院に赴任となりました。同門の中では、初の子持ち整形外科医として周囲の先生方に支えられながら日々勤務しております。至らない点もあるかと思いますが、精一杯努めてまいりたいと思います。



内科
中原 恵理子
1999年 香川医科大学卒業

総合内科の中原 恵理子と申します。

もともと自分がアトピーだったこともあり、皮膚科医として仕事をしていました。皮膚を通じ、より人間の内面に興味をわき、今回、松波総合病院に内科医として入職いたしました。真摯な気持ちで医療に取り組もうと思っています。よろしくお願いいたします。



整形外科
竹内 健太郎
2006年 岐阜大学卒業

持ち前の情熱と若さで精一杯がんばります!

岐北厚生病院より赴任してまいりました竹内健太郎と申します。卒業して6年目になります。まだまだ未熟者ですが、精一杯がんばってまいり所存です。みなさん何卒よろしくお願いいたします。



内科
全 秀嶺
2008年 福井大学卒業

はじめまして。内科医員の全と申します。

今回、十数年ぶりに故郷である岐阜へ帰ってまいりました。やはり慣れ親しんだ街の空気や水は合うようで、心なしか体調がさらに良くなったような気がします。まだまだ未熟者で毎日が勉強です。よろしくお願いいたします。

健康コラム

骨粗しょう症

整形外科 医師
白井 剛志



専門分野：外傷、一般整形

骨粗しょう症は、鬆が入ったように、骨の中がスカスカの状態になり、骨がもろくなる病気です。骨がもろくなることで、わずかな衝撃でも骨折をしやすくなります。骨は出来上がったからそれでおしまいではなく、古くなり劣化した骨を新しい骨に絶えず作り変えています(骨のリモデリング)。この壊す過程(骨吸収)とつくる過程(骨形成)のバランスで骨の強度は保たれていますが、このバランスがくずれることで骨粗しょう症が引き起こされます。女性ホルモンのエストロゲンは、分泌量が減少すると、骨吸収が異常に高まります。これにより骨形成が間に合わず、骨がスカスカの状態になってしまいます。閉経後の女性に骨粗しょう症が多いのはこのためです。また、年を重ねることで骨形成が徐々に低下することも原因のひとつです。

骨粗しょう症の予防には、適度な運動、バランスのとれた食事を習慣として続けることが大事です。運動ではウォーキング、食事では、カルシウムはもちろん、ビタミンD、ビタミンK、タンパク質、マグネシウムなど、骨の形成に必要な栄養素を摂りましょう。背骨が変形することで起こる、前かがみ姿勢(踵を壁につけて立った時、後頭部が壁につかない)、身長の下下などがあれば、検診などで骨密度を測ってもらい、低下しているようなら専門医の受診をお勧めします。骨粗しょう症の予防は、骨折の予防につながります。高齢者の骨折は、日常生活の能力を大きく低下させますから、骨粗しょう症の予防を普段から心がけることが元氣な生活を送れる一助となるでしょう。

八木管理栄養士が
お届けする 体にeヘルシーレシピ
カルシウムが摂れる
じゃこ入りチーズコロッケ

1人前	236 kcal	カルシウム	153 mg
-----	----------	-------	--------

- <材料・2人前>
- じゃこ(しらす) 20g サラダ油 小さじ1/2(2g)
 - チーズ 40g こしょう 適宜
 - じゃがいも 100g 衣 (小麦粉、卵、パン粉)
 - 玉ねぎ 40g 揚げ油
 - ソース 適宜

- <作り方>
- ①じゃがいもは皮をむいてゆでる。
 - ②玉ねぎはみじん切りにし、油をひいたフライパンできつね色になるまで炒める。
 - ③ゆであがったじゃがいもをつぶして②、こしょうを混ぜ、あら熱が取れたらじゃこを入れる。(このときコロッケの種を十分冷ましておくこと)
 - ④③でチーズを包むようにしながら小判型に成形する。
 - ⑤④に小麦粉、溶き卵、パン粉をつけて180度の油できつね色になるまで(2分ほど)揚げる。

ここがヘルシーポイント!

日本人は先進国の中で最もカルシウム摂取量が少ないといわれています。カルシウムを効率よくとるため、カルシウムの吸収率が高い牛乳・乳製品や、大豆・大豆製品、魚介類・海藻などを積極的に摂るようにしましょう。また、吸収率は低いです。小松菜などカルシウムを多く含む野菜も積極的に取り入れたいものです。今回はカルシウム吸収率が高く含有量も多いチーズとじゃこを使い、効率的にカルシウムが摂れるようなメニューになっています。

中山薬剤師の 知ってトクする

くすりのお話し



お薬で副作用が起きてしまったら どうすればいいですか?

医療の進歩に伴い使用できる薬は年々増えてきています。色々なお薬での治療が受けられるようになった一方で、お薬による副作用を経験した方もみえるのではないのでしょうか。実際お薬は正しく使っても副作用が起こってしまう場合があります。入院となってしまうような治療が必要になった場合や重い障害が残ってしまった場合、医薬品副作用被害救済制度を利用することで治療費の給付を受けられます。患者さま本人やその家族が直接請求することになるため、

一般の方にも知っていただきたい制度です。給付が受けられないお薬(抗がん剤、免疫抑制剤など)もありますので、ぜひ一度「医薬品医療機器総合機構」のホームページ <http://www.pmda.go.jp/> を覗いてみてください。また、相談窓口もありますので、不明な点があれば、ぜひ相談してみてください。もちろん他人からもらった薬の使用や、処方箋の使い方を守っていない場合は給付対象にはなりません。必ず正しい使い方を守るようにしましょう。